

発行/1部10円(購読料は組合費に
包含)
発行所/新潟県高等学校教職員組合
/新潟市中央区川岸町2-11-4
TEL(265)4151
FAX(231)1036
発行人/吉田 裕史



速報

第90回定期大会
議案書のポイント

2020年6月22日

2020年8月1日(土)に開催する第90回定期大会(書面議決対応)について、議案のポイントは以下の通りです。支部で行われる議案書オルグの際、議案書とあわせて持参ください。

○第1号議案(総括・情勢・方針)、第3号議案(当面のとりくみ)、スローガン

1. ゆたかな学びの保障(総括 p5-12 情勢 p24 方針 p26-28 当面 p33-34)

① 高大接続改革について

- ・20年度実施予定の「大学入学共通テスト」 → 民間試験活用と記述式問題の導入見送り

② 高校入試の改善

- ・特色化選抜、独自検査導入から6年経過、新教連交渉で「独自検査は実施しない」と回答
→21年度入試筆答検査実施予定は2校
→特色化選抜募集分野に文化活動(社会貢献・地域探究など)が追加

③ かわる「同和」教育の推進

差別事案への対応、生徒自死事案頻発で「同和」教育の強化要求

- ・「六日町高校公開授業事件」 → 指定校に対する県教委の指導に疑義
- ・「越佐にんげん学校第4講座差別発言事件」 → 講演会後の質疑応答時に高校教員から差別的な質問
- ・県立学校生徒自死事件の確認会等
→「同和」教育が根付くどころか、「部落差別解消推進法」の主旨から遠ざかっていることが危惧される
全県「同和」教育学習会
→ 新型コロナウイルス拡大防止のため中止 (全人教レポート検討を予定)

2020 全人教新潟大会

→新型コロナウイルス拡大防止の観点から21年度に延期

公正採用選考・高卒求人票改悪

- ・18年度新規高卒者採用選考(書類違反:民間117件、公務471件 違反質問:民間148件、公務9件)
- ・求人情報の一方的削減 → 不利益を被ることがないように、代替策の提示を労働局、県教委に要請
県同教とりくみへの積極参加
- ・「いのち・愛・人権」燕展、部落解放第36回県研究集会村上大会、越佐にんげん学校など
各種研修会への積極参加 菅刈り・菅笠づくり、5年ぶりの復興祈年祭、セクシュアリティ生徒交流会

④ 教育予算、募集学級

- ・県立学校の将来構想 「適正規模は4~8学級、4学級未満は統廃合」 → 具体的な統廃合計画は示されず
(22年度には1学級規模12校、2学級規模16校、3学級規模11校 → 全体の42%が適正規模未満)
- ・都市部への集中 → 周辺校で学級減が加速し、小規模校が急増(全県1学区導入時に新高教で指摘)

2. 労働条件の改善(総括 p12-17 情勢 p25 方針 p28-29 当面 p34-37)

① 秋年末確定闘争

- ・6年連続の月例給引き上げ勧告、一時金は据置、行政職4級の号給増設 → 2月県議会条例改正

② 人事評価制度

- ・勤勉手当「上位成績率」に所属毎5割の職員を推薦 (※2回に1回は上位成績率に)
→19年度明確な理由なく推薦されなかった職員が約8人
- ・査定昇給2回目の推薦が発令 (課) 推薦を一度も受けていない職員は約700人
→特定の職員が複数回受けることのないよう検証を続けていく

19年度人事評価「勤勉手当」
19年12月(上半期)
標準(0.925)上位(0.964)
20年6月(下半期)
標準(0.925)上位(0.953)

③ 県職員給与臨時削減課題

県財政悪化の原因、02年臨時削減時の労使確認、人件費が財政悪化の原因ではないことを交渉で追及
当初提案「給与・一時金とも4年間3%削減」 → 8回の交渉で次のように押し戻す

「給与2.5%(23年度は2.0%)、一時金3.0% ※若年層、臨時・任期付職員は給与1.5% 一時金3%」
※当初提案と10万円以上の差 マイナス人勧への考慮・延長しない・率の上乗せしない 等を確認

④ 20 春季生活闘争

- ・新型コロナウイルス対策の長期化により、経済へ大きなダメージ

⑤労安体制、労働時間縮減と権利拡大

- ・「県立学校における教師の勤務時間の上限に関する指針」
7 限廃止、部活動精選等が盛り込まれるものの、具体的な業務削減がない中での、出勤制限策が目立つ
- ・学校安全衛生委員会の活発化（職場環境の改善）
- ・ハラスメント事案続発（19 年度本部で 5 件対応）
- ・会計年度任用職員制度（20 年 4 月 1 日～）
非常勤講師報酬単価 2,460 円変わらず、一時金支給要件週 29 時間以上勤務で前進せず
成績処理業務に報酬が支給 → 標準で年 6 回支給の徹底を！
- ・常勤講師の離職期間撤廃

成績処理報酬額 ※一校あたり 6 回支給総額			
持ち時数	1~4h	5~10h	11h~
支給額	44,280	73,800	103,320

⑤民主的人事

- ・人事異動 → 遠距離通勤の増加、短期異動者の増加の問題あり
※再任用人事 希望勤務形態の変更が相次ぐ → 希望に沿った任用を求めとりくみを継続
- ・公務員の定年延長制度 → 国会で審議が始まるも、検察人事の批判の影響から審議先送り
- ・新規採用者数激減 → 20 年度教諭新採用 5 人 21 年度新採用 8 人予定
市立高校割愛職員の県立への異動の遅れ 長距離通勤者の増加

⑥不当処分阻止のたたかい

- ・19.3.26 処分に関する人事委員会不服審査請求を支援継続

3. 護憲・平和、いのち・個人の尊厳（総括 p18 -19 方針 p30 - 31 当面 p37-38）

①改憲反対、戦争法、共謀罪の廃止

- ・19 参議院選挙で改憲勢力 2/3 割れ→国会での改憲議論をストップ！改憲阻止に向け更なる意思統一を
- ・「安倍 9 条改憲 NO! 改憲発議に反対する全国緊急署名」（平和フォーラム・日教組）

②原発再稼働阻止へ向けて

- ・「核兵器禁止条約への調印を求める意見書」 県内 23 市町村議会で採択（採択率 76% 全国 3 位）
- ・原発再稼働に向けた動きに対し、日教組・平和 F・県平和 C と連携したとりくみ強化

③高校生平和大使

- ・新潟第一高校石橋美羽さん（新潟で 5 代目） 広島、長崎、ジュネーブで任務に就く
帰国報告会（11 月） 副知事訪問（1 月）上越地区高校生フォーラム（2 月）
- ・18 年に引き続き高校生平和大使がノーベル平和賞の候補にノミネート

4. 組織拡大・強化（総括 p 19-22 情勢 p25 方針 p 31-32 当面 p38-39）

①組織の現状、課題

- ・『新加入リーフレット』の活用 目標：全分会 1 名の加入獲得を！
- ・20 年 3 月末で組織率（ ）%（ ）人
- ・組合学校・県教研→組合員の学習や交流を深めるためにも積極的な参加を
- ・学校統廃合による支部内の分会数が減少→地域共闘分担、支部会計逼迫→組織的な検討が必要
- ・月 2 回情宣紙を発行→交渉課題・成果、集会要請・報告など組合員への情報周知を迅速に

②未組織者に対するとりくみ

- ・新規組合員の年度内組合費免除 分会褒賞金の支給 臨時・非常勤、再任用者の加入

③新高教 70 周年記念事業

- ・5 月 2 日の開催は新型肺炎感染症拡大を受け 7 月 18 日定期大会後に延期
→ 5 月の情勢を判断して中止に（70 周年記念誌を発行）

④十日町市議会議員選挙（21 年 4 月実施）

- ・瀧澤貞親さん（元本部執行委員）を組織推薦 日教組本部へ日政連推薦候補申請

○第 2 号議案（2020 年度予算）

○第 4 号議案（休職専従役員の現場復帰に伴う補償金支出承認）

○第 5 号議案（選挙委員の選任）

○第 6 号議案（その他）

希望奨学金協会第 45 回定期総代会 『臨時給付』 新型肺炎感染による家計急変支援